

一見本一

第 号

令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日

奈良県知事 殿

住 所 橿原市八木町1丁目1番18号

氏名等 橿原 太郎

埋蔵文化財発掘の〔届出・~~通知~~〕について

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事等のための発掘を実施したいので、文化財保護法（昭和25年法律第214号）〔第93条第1項・~~第94条第1項~~〕の規定により、別記1の事項について、関係書類を添付し、別記2のとおり〔届出・~~通知~~〕します。

別 記 1

1. 土木工事等をしようとする土地の所在地及び地番
2. 土木工事等をしようとする土地の面積
3. 土木工事等をしようとする土地の所有者の氏名又は名称及び住所
4. 土木工事等をしようとする土地に係る遺跡の種類、員数及び名称並びに現状
5. 当該土木工事等の目的、計画及び方法の概要
6. 当該土木工事等の主体となる者（当該土木工事等が請負契約等によりなされるときは、契約の両当事者）の氏名及び住所（法人その他の団体の場合は、その名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地）
7. 当該土木工事等の施行担当責任者の氏名及び住所
8. 当該土木工事等の着手の予定時期
9. 当該土木工事等の終了の予定時期
10. その他参考となるべき事項として、付近見取図（1/2,500程度）、配置図（1/500程度）、平面図（1/100～200程度）、敷地断面図（現況及び計画を明示したもの）、基礎伏平面図・断面図（1/100～200程度）を必ず添付すること。

【 添付書類 】

- ・土地所有者が申請者以外の者である場合については、土地所有者の承諾書

別 記 2

全ての町名と地番または番地を記入。
枠内に入らない場合は、別紙一覧表を作成し、「別紙一覧表の通り」と記入。

全ての地番または番地を記入。
枠内に入らない場合は、「別紙一覧の通り」と記入。

述べ床面積ではなく、建築面積

土地所有者が届出者と異なる場合、「承諾書」の土地所有者の氏名・住所

該当する現状を選択。該当が無い場合は「その他」を選択し、()内に記入。

記入不要

記入不要

記入不要

該当する目的を選択。無い場合は「その他」を選択し、()内に記入。

()内には、基礎の補強がある場合、「柱状改良」等の補強工法名を、無い場合は「ベタ基礎」等基礎の形状を記入。また、公共下水または浄化槽のどちらを使用するか記入。

届出者の氏名・住所

施工者が決まっていな場合は、「未定」

届出の日付が、工事着手の60日以前でない場合は、「通知日以降」

代理人(もしくは代理人以外の連絡先がある場合)の連絡先。
代理人がない場合は申請者の連絡先。

1. 所在地	檀原市 八木 町 1丁目1番18号			
2. 面積	開発(敷地)面積	〇〇 m ²	建築面積	〇〇 m ²
3. 土地所有者	氏名等：檀原 花子 住所：檀原市八木町1丁目1番18号			
4. 遺跡の種類	龍穴・古井・貝塚 都城跡 官衙跡 城館跡 社寺跡 古墳 横穴墓 その他()			
遺跡の名称	記入不要			員数
遺跡の現状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他()			
遺跡の時代	旧石器 弥生 古墳 奈良 平安 中世 近世 その他()			
5. 工事の目的	住宅(自己用・賃貸・分譲) 工場 学校 その他建物() 道路 鉄道 河川 ダム 宅地造成 土地区画整理 公園造成 ガス 電気 水道 農業関連 土砂採取 観光開発 遺跡整備 その他()			
工事の概要	木造2階建(柱状改良、公共下水)			
6. 工事主体者	氏名等：檀原 太郎 住所：檀原市八木町1丁目1番18号			
7. 施工責任者	氏名等：(株)檀原工務店 住所：檀原市八木町1丁目1番18号			
8. 着手予定時期	令和〇〇年〇〇月〇〇日	9. 終了予定時期	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
10. 参考事項	連絡先 住所：〒634-8586 檀原市八木町1丁目1番18号 氏名等：(株)檀原設計事務所(檀原 次郎) TEL 0744-22-4001			
指導事項	代理人(もしくは代理人以外の連絡先がある場合)の連絡先。 代理人がない場合は申請者の連絡先。			
起 案	決 裁	発 送	引 継	

〔注 意 事 項〕 ①太線内は届出者・通知者が記入。 ②指導事項欄は都道府県文化財担当部局で記入。

③遺跡の種類・現状・時代及び指導事項欄は該当項目を○で囲み、該当項目のない場合は()内に記入。